Living the LOTUS
Buddhism in Everyday Life
11
2020
VOL. 182

開祖随感

一期一会（いちごいちえ）

この世のことは、あっというまに移り変わっていくものだと頭では分かっていても、それが身にしみて分かるのは、ある年齢になってからなのかもしれません。

それまではつい、またいつでも習える、いつでも見られる、いつでも会えると、一日一日の大切さ、一つ一つの出会いのかけがえのなさに気づかずに過ごしてしまうことが多いのではないでしょうか。

ある人が道元禅師に、
「学道を心がけて何年にもなりますが、一向に悟るところがありません。なぜなのでしょうか。」と尋ねたのに対して、道元禅師は、こう答えられています。

「それは、本気か本気でないかの問題だ。本気になれないのは、この世の無常をわが身に実感していないからだ」と。

家族の一人ひとり、毎日起こる出来事の一つ一つ、教会道場でのさまざまな人との出会いを、もういちど見直してみたいものです。

同じ毎日、同じ人たちが、まるで違った感動をもって見られるようになってくると思うのです。

（『開祖随感』9, P. 274-275）

Living the Lotus
2020年11月号（Vol.182）
【発行】立正佼成会 国際伝道部
〒166-8537　東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F
Tel: 03-5341-1124
Fax: 03-5341-1224
E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp
編集責任者: 齋藤高市
編集チーフ: 長田健祐
校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之
編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼脇祖によって創立された、法華三部経を所依の経典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鑛会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life（法華経を生きる～生活の中の仏教）というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

会長法話

「ありがたい」といえる幸せ

立正佼成会会長　庭野日鑛

随喜の心

法華経の「随喜功徳品」には、教えを聞いて心から歓喜した人が、その喜びを別の人に伝えることの功徳が説かれています。教えを聞いて、心から「ありがたい」と受けとれば、それをだれかに伝えたくなります。そうして人から人へとその感動と喜びが伝わり、五十番めに聞いた人が「ありがたい」と感じるその功徳はとても大きく、ましてや、最初に随喜の心を起こした人が得る功徳は計り知れないというのが、よく知られる「五十展転」の教えです。

ただ、この「随喜」という言葉には、「他人の善い行ないを見て、心に歓喜を生じること」という意味があります。

みなさんも、善い行ないをしている人を見たり聞いたりしたときに、心を動かされることがあると思います。

災害に見舞われた地域の復興に協力するボランティアの人や、新型コロナウイルスに関連して、懸命に尽力される医療従事者のみなさんの姿を報道などで見るたびに、敬意とともに感動を覚える人も多いのではないでしょうか。

また、日常ふと目にした何気ないひとこまが、胸にさわやかな喜びと余韻を運んでくれることもあります。

新聞で読んだのですが、電車のなかで二歳くらいの女の子が、乗客一人ひとりに、ちょこちょこと歩み寄ってはペコリと頭を下げ、あいさつをしてまわる様子が語られていました。走行中の車内を歩かせるなんて、と目くじらを立てる人は一人もいなくて、その無垢な姿にみんなが心を動かされ、車内があたたかな空気に包まれたというのです。

では、医療従事者にしても、電車内の童女にしても、そのような光景を見たときに、私たちがどうして感動したり、心を癒されたり、喜びを覚えたりするのでしょうか。

それは、童女と同じ無垢な心や、苦しむ人を助けたいという医療従事者と同じ気持ちが、私たちにもあるからです。実際に行動していなくても、善い行ないに心を打たれたとき、自分はもうそこに参加しているのです。あとは、その思いをどう体現するか、ということかもしれません。

私たちが「感謝」できるのは

人それぞれに個性も違い、気力・体力や立場も違いますから、人によってできることは異なります。ですから、たとえば、だれもがスーパーボランティアといわれるような方のまねはできないでしょう。ただ、感動や歓喜を生きる力に変えたり、すばらしいできごとに出会って「ありがたい」と感謝したりできるのは、人間独特の感性といわれます。

しかし、よく考えてみると、人間以外の動物や植物は、感謝することはできなくても、それぞれの役割を全うしつつ、大きな調和を保って生きています。心をもつ人間だけが、嫉妬や怒りや欲に迷い、ときに不調和に苦しみながら生きているのです。つまり、人間が感謝できるのは、そのことによってこそ、大自然と調和できるからだとはいえないでしょうか。私たちが自らの心の調和を保ち、家庭や社会でみんなと仲よく生きるには、いつも「ありがたい」と感謝できる人間になることが大切である、ということです。

幸いなことに、私たちは、何ごとも素直に「ありがたい」とか「うれしい」と受けとめることで、ほんとうの心の安らぎが得られることを知っています。そして、お金や地位があろうがなかろうが、いつでも幸せを感じられる、ほんものの人間になりたいと精進しています。

その感動と感謝が凝縮された一節が、法句経の「人の生を受くるは難く　やがて死すべきものの　いま生命あるは有り難し」でしょう。命をいただき、いまここに生きる人間の本質的な喜びを、「五十展転」さながら、素直に人に伝えていくとき、まことの幸せが広がるのです。

（『佼成』2020年11月号）

仏さまのお慈悲に導かれて

韓国教会
平恩雅

この体験説法は、2019年12月22日に韓国教会で行なわれた
水子合同慰霊祭のなかで発表されたものです。

皆さま、こんにちは。龍山支部の平恩雅（ピョンウンア）と申します。合同水子供養の日に、体験説法のお役をいただき、誠にありがとうございます。

私は1969年ソウルで、父、平一雄（ピョンイルウン）と母、全仁子（ジョンインジャ）の1男3女の長女として生んでいただきました。24歳の時に夫、朴鍾一（パクジョンイル）と結婚し、現在25歳になる娘がいます。

佼成会には2004年に入会しました。当時、事業に失敗した夫は地方のホテルの総支配人として再就職し、単身赴任をしておりました。家計を助けるために私も働きに出ましたが、生活はとても苦しく、私は心の中の怒りや憎しみをすべて夫に向けていました。そんな時、娘の学校の保護者会で知り合った私の導きの親、林秀貞（イムスジョン）主任さんに誘われ、家庭教育のお話を聞くため、初めて韓国教会を訪れました。実は、主任さんからは何度も佼成会へのお誘いを受けていたのですが、その度にお断りしていたのです。

家庭教育のお話は私にぴったりの内容でした。事業の失敗による苦しみを抱え、一家の大黒柱の役をしっかりと務められず自責の念に苦しんでいたに違いない夫を、私はそれまで憎み続けていたのです。お話を聞くことで自分自身を振り返り、夫がどれだけ一人で寂しい思いしていただろうと考えると、おもわず涙がこぼれました。家庭教育への参加を機に「佼成会ってなかなか良いところだな」と思った私は、すぐ入会の手続きをし、総戒名をご安置させていただきました。

しばらくして夫はホテルの仕事を辞め、ソウルの自宅に戻ってきました。再び収入のない生活が始まりましたが、もう夫への怒りや憎しみはなく、私は「そうだ。夫が休職中の間、一緒に教会に行って勉強してみよう」という思いでいました。

教会では、基本的な「三つの実践」を教えていただきました。最初は「これで何の役に立つのだろう」と気乗りがしなかったのですが、ある日、自宅でトイレから出て来た夫が「しまった、履物をそろえてない」と言ってトイレのスリッパをそろえているのを見た時、突然、たくさんの蛍光灯を一度につけたかのように、家中が明るくなるのを感じました。それから十数年が経ちましたが、その日の奇跡のような出来事を、今も鮮明に覚えています。

夫はその後再就職しましたが、新しい職場に馴染むことができず、入退社を繰り返しました。そんな夫を私の力ではどうすることもできず、その度に当時教会長をされていた李慶子（イキョンジャ）顧問さんに結んでいただき、夫や状況を変えようと執着する心から離れることができました。

その後、李顧問さんの反対にもかかわらず再び事

韓国教会で説法する平さん

業に手を出した夫は、あろうことか詐欺の被害に遭い、多額の借金を抱えてしまいました。住んでいた家も手放さざるを得なくなり、私たちは夫の母の家に同居することになりました。

義母と夫の姉たちは、私が引っ越しの時に持っていったご宝前を見て驚き、家中が大騒ぎになりました。夫は3男3女の末っ子で、姉たちは夫には何も言わずに私にだけ不満をぶつけ、ご宝前をすぐに片付けるように要求してきました。李顧問さんは、信仰を否定されて怒りのおさまらない私を、「まずは家の平和が大事だよ」とやさしく諭してくださいました。

ご宝前をめぐる夫の家族との出来事を通して、私の信仰を受け入れてくれた実の両親への感謝に、あらためて気づかせていただきました。私は負けん気から、「嘘も方便」と自分に言い聞かせ、「仕事に行ってきます」と言っては、毎朝、家を出て教会に向かいました。

そうして1年が経った頃、本部でご本尊を勧請された方たちや主任のお役を拝命された信者さんに比べ、私は自分の修行が停滞していることを感じ始めました。すべては自分の至らなさのためだと考える反面、夫の姉たちのせいで前進できずに損をしているという思いも湧いてきて、夫の家族に対する感情はますます悪化していきました。一方で、そのような自分の心を恥ずかしく思い、李顧問さんに結んでいただきたくても、気がひけてお願いすることができませんでした。どこにも吐き出せない感情が鬱積し、しだいに物事を素直に受け止められなくなっていきました。教会に足が向かなくなった私は、再び働きに出ることにしました。

2015年2月7日、病床にあった李顧問さんが逝去されました。我が家を絶えず見守ってくださっていた李顧問さんでしたが、教会から遠ざかり、教えからも離れていた申し訳なさで、お見舞いにもなかなか行けませんでした。

仕事のため、その後も教会に参拝できるのは、週末や休日だけでした。顧問さんに代わって教会長に着任されていた李幸子（イ ヘンジャ）教会長さんのご講話を聴くと、気持ちはとてもさわやかになりました。しかし、仕事の疲れで休日でも教会に行けないことがあり、また1年以上も教会から足が遠ざかっていた時期もあって、教えやサンガに対する思いは徐々に薄れていきました。職場では、最初は教えを意識しながら周りの人と接していたのですが、しだいに怒りを制することなく感情の動きに任せた生き方をするようになっていきました。「このままではいけない」と思い、信仰を得たときの初心に戻りたい気持ちから、6年以上勤めていた会社を辞め、教会での21日間の祈願供養に入り、毎日法座に座りました。

その年の12月には、合同水子供養に参加させていただきました。李教会長さんが「『全てを自分として受け止める』というのは、自分のまわりに起きてくるすべての現象を、自分を成長させてくれる有り難い仏さまのお慈悲の働きと受け止めること」とお話しをされているのを聞いたとき、ご講話の内容が心に強く響くのを感じました。それまでは、なにか問題が起きると「すべては自分の責任。自分が間違ったことをしたからだ」と後ろ向きに捉え、教えに照らして物事を見るのを恐れていました。自分の考えで頭がいっぱいになり、人の話を聞くことができず、正しい理解ができないため、苦をさらに大きくしていたことに気付かせていただきました。自分の思い通りにならないことに出会ったとき、「これも成長のため。仏さまの有り難いおはからいだ」と受け止めることができれば、苦を逃れようとして新たな苦を招き入れたりしないこと、つまり第2、第3の矢を受けないことを教えていただきました。

私は、この「大安心に包まれる教え」をもっと勉強したいと思い、毎日、朝と昼間を教会で過ごすようにしました。

そして、生活のために、夕方以降にできるパートを始め、夕方5時から夜11時まで働いて深夜に帰宅し、1時過ぎに就寝するのが日課になりました。

そんな中、生活に余裕があって働く必要がなく、時間の都合がつきやすいにもかかわらずお役を断る人を見て、イライラしてしまうこともありました。そうした思いを法座で打ち明けると、「余裕のある生活というのは、お金や時間がいっぱいあって、遊びに行ったり美味しい物を食べたりすることではなく、どんなことにも振り回されない柔軟な心で生活すること」と教えていただき、これからは修行目標をはっきり定め、それに向って振り回されずに歩んでいこうと肝に銘じました。

夫の仕事の問題や家の経済状態は、今も好転してはいません。現在、夫の職場は3か月分の給料が未払いの状態で、また仕事を失うかもしれません。こんなに修行しているのに、どうして問題がなくならないのだろうと思い、自分自身を見つめてみました。すると、表面上は法座で結んでいただき、教えを実践し、修行をしているように見えても、心の中では不平不満と将来への不安に振り回されている自分だったことに気づきました。しかし、以前と少し違うのは、夫の気持ちが理解できなかったり、夫のことを情けないと思ったりすることがなくなったことです。家族のため、職場で大変な思いをしながらも、一生懸命に責任を果たそうと努力している夫の姿に感謝でいっぱいです。妻である私の役目は、夫を信じてあげることだと気付かせていただきました。あらためて心を引き締め、ことあるごとに内省をしながら、心から教えの実践ができるように精進していきたいと思います。

私には大切に育ててきた一人娘がいます。社会に出て一人でやっていけるのか心配でしたが、自分の仕事を一生懸命に果たすしっかり者に育ってくれました。そして、母親の私を気遣ってくれる頼もしい娘です。佼成会の教えに出会えなかったら、一人では何もできない子に育ててしまっていたに違いありません。

私は、母親とは子どもに1から10まですべてやってあげるものだと思っていました。それができないなら、たとえ子どもを授かっても生まない方が子どものためになると考えていました。そのため、無知なこの母の胎内に宿ったにもかかわらず、生まれることが叶わなかった大切な命に、この場を借りて深くお詫びをし、懺悔させていただきます。

2019年4月、教会長さんのおはからいで、日本で行なわれた「東アジア布教リーダー養成教育」に教会スタッフとして参加させていただきました。5泊6日のスケジュールで、韓国、台湾、モンゴルから15名が参加し、とても幸せな時間を共有することができました。教団基本構想をはじめ、佼成会のお役とその意義、手どり、道場当番、法座について学ばせていただくなかで、日韓の歴史をめぐる困難な状況にもかかわらず、開祖さまの教えを韓国に伝えてくださった李顧問さんと現教会長さんへの感謝の思いを新たにし、とりわけ日韓の架け橋として活躍された李顧問さんのご尽力の尊さにあらためて気づかせていただきました。

義母の家で同居を始めた当初は、家にご宝前を置くことを反対されたため、今できることだけでもさせていただこうと思い、毎月教会の戒名室をお借りし、過去帳に書かれたお戒名の順番に先祖供養を続けておりました。すると、次第にご宝前を家に置かせていただきたいという思いが募り、私は家族から反対されたら家を出ようと覚悟し、まず夫に相談しました。すると、夫は快く私の願いを受け入れてくれたのです。そして、ついに今年の4月、夫の実家にご宝前を置かせていただく運びとなりました。義母と夫の姉たちの反応が少し心配でしたが、ご供養をして仏さまやご先祖にご挨拶ができることで、心が明るくなりました。

新型コロナウイルス感染防止のため、教会でのご命日参拝や法座が活発に行なえない今、我が家にご宝前があることがどれだけ有り難いことか、言葉では言い表せません。朝夕のご供養をあげさせていただくと、心が安定し、平穏な気持ちになります。

私は、最初は何事にも積極的に心を込めて取り組むことができる反面、飽きっぽく、物事を中途半端にしてしまうことがよくあります。根気強く、コツコツと、一途に行動される私の導き親、林（イム）主任さんのお陰さまで、これまで佼成会とのご縁につながってくることができました。私にも数人の導きの子がいますが、林主任さんに倣って、根気強く、これからも一人でも多くの人をお導きできるように精進いたします。

教えのお陰さまで、人を思いやり、明るい心と笑顔で人さまと接することができるようになれたこと、そしてお役のお陰さまで、人さまや社会のお役に立てる人間になれたことに、心より感謝いたします。

この世に生まれ、こうして出会い難き法華経に出会えたからには、最高に素晴らしい、生きがいに満ちた人生を歩んでまいりたいと思います。

仏さま、開祖さま、ありがとうございました。

会長先生、ありがとうございました。

サンガの皆さま、ありがとうございました。

練馬教会での布教実習後、教会の皆さんと（左から二番目）

妙法蓮華経
法師功徳品第十九

六根清浄の功徳

前の《随喜功徳品第十八》の最後のほうにも少しありましたが、この品には、五種法師（受持・読・誦・解説・書写の五つの行）を積極的に行なう人が、目や耳や鼻や舌や身や意（六根）に受ける功徳について、詳しく説かれています。非常に象徴的な表現がしてありますので、現代の人にとってはたいへん不思議なような感じを受けるでしょうが、われわれは、その奥にある真実を、よくつかみとらなければならないと思います。

菩薩の四無畏

お釈迦さまは六根清浄の功徳の最初に、眼の功徳について説かれますが、その偈の中に〈無所畏の心を以って是の法華経を説かん〉という一節があります。

これは昔から〈菩薩の四無畏〉として尊ばれてきたものです。つまり、「何ものをも畏れず、はばかることなく、信ずるところを説く、堂々たる心境や態度」のことです。これは、仏さまの無所畏の心（仏の四無畏）に対応するものですが、末世にこの法華経を説きひろめようとする菩薩にとって、最も大切な心得であるといえましょう。

まず第一は〈総持不忘〉といい、自分が聞いたすべての教えをしっかりと記憶して忘れることがなければ、だれに対して法を説いても、畏れはばかるところがないということです。

第二は〈尽知法薬〉といい、衆生の一人一人の機根と、心のもち方の違いによって、それぞれに適応した法の薬を処方できれば、なんの心配もなく法を説くことができるということです。

第三は〈善能問答〉といい、どんな質問や反駁に対しても、真理に従って、はっきり筋道を立て、だれにも納得できるように答えてあげられれば、何の畏れもなく法を説くことができるということです。

第四は〈能断物疑〉といい、一切衆生をことごとく救おうという仏さまの大慈悲に通ずるような境地に立って、微妙な疑問に対しても「仏さまのご真意はこうなのだ」といいきってあげられれば、どんな人に対しても、畏れはばかることがなく法を説けるというのです。

こう見てきますと、人に法を説くということは、まことに容易ならぬことであると、おじけづいてしまう人

があるかもしれません。しかし、おじけてしまってはいけません。ここに述べたのは、あくまでも説法者の理想像であって、ここまで達したら、もはや大菩薩です。その大菩薩にしても、初めから大菩薩だったわけではありません。長い年月、不断の努力を続け、たくさんの試行錯誤を経てこの境地に達したのです。

ですから、われわれ菩薩行を修しているものは、この四つの理想像をいつも胸におき、この四箇条を心の戒めとして、法を説けばいいのです。もし、難かしい問題につきあたったり、もてあますような質問を受けた場合は、率直に「これはわたしの力に余る問題ですから、よく調べ、またはしかるべき人に教えを受けて、後日それをお取り次ぎしましょう」と答えるべきであって、その場をいいかげんにごまかすようなことをしてはなりません。

そして、そういう答え方は、決して説法者の値打ちを低くするものではなく、かえって聞く人の信頼性を高める結果となるものです。

世法(せほう)も仏法に一致

この品の中に、見逃してはならぬ言葉があります。それは〈若(も)し俗間(ぞっけん)の経書(きょうしょ)・治世(じせ)の語言(ごごん)・資生(ししょう)の業等(ごうとう)を説(と)かんも、皆正法(みなしょうぼう)に順(じゅん)ぜん〉という一句です。現代語に訳せば、「もしその人が、日常生活についての教えや、世を治めるための言論や、産業についての指導を行なっても、それはおのずから正法に合致するものでありましょう」ということです。

正法というものは、決して単に精神的な、個人的なものではなく、必ず社会への広がりをもつものです。そして世法を正しく生かすものです。そうでなければ、究極において人類全体を救うことはできないのです。このことは、よくよく胸に刻んでおきたいものであります。

（庭野日敬著『法華三部経　各品のあらましと要点』
佼成出版社, 2016年［初版 1991年］, P.183−187）

Director's Column

報恩感謝と菩薩行の誓願

一年の締め括りの時を迎えました。コロナ禍でいつもと違う一年間を過ごしましたが、新たな発見もたくさんあったと思います。その中で一番の気づきは、「何が大事か」ということだったのではないでしょうか？

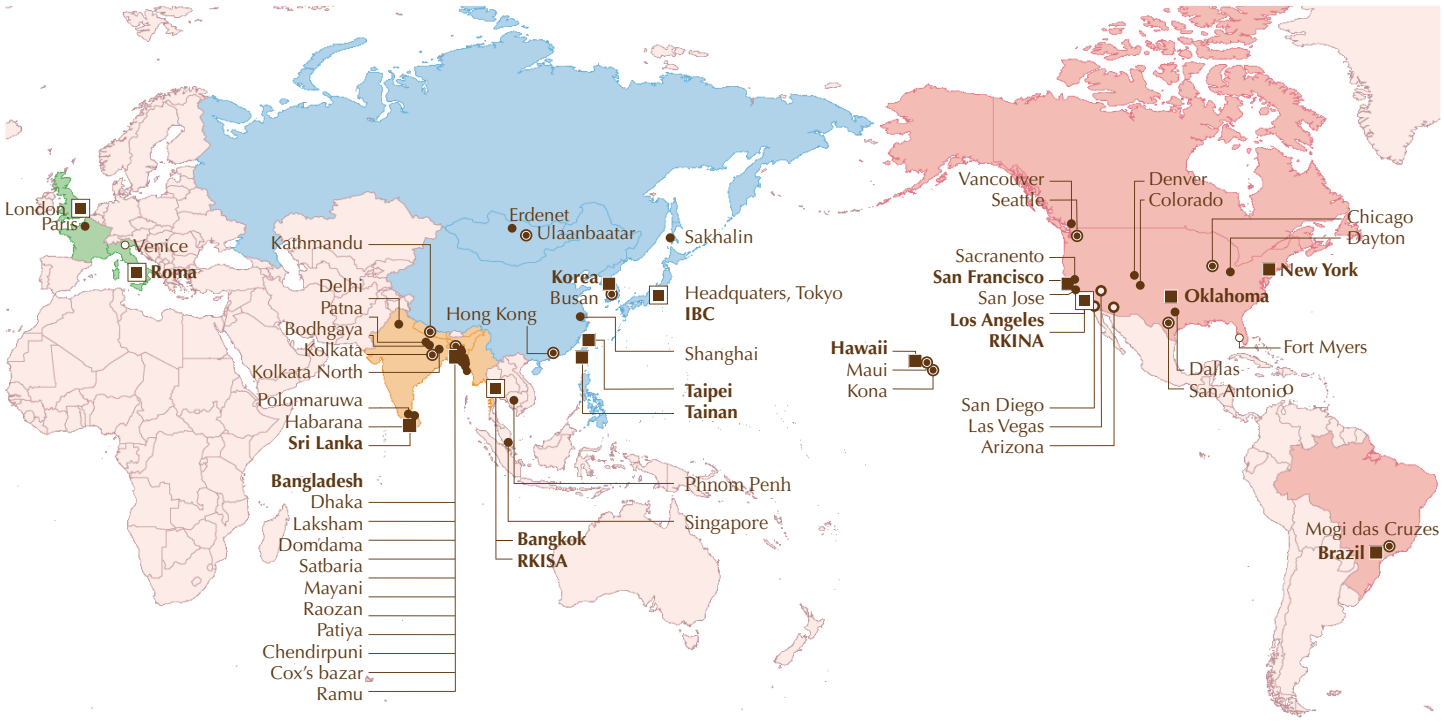
会長先生の11月のご法話は、「『ありがたい』といえる幸せ」です。随喜功徳品の「五十展転」をご引用くださり、心に歓喜を生じることの意義を確認くださいました。そして、一人ひとりの中にある仏さまと同じ善い行ないをしたいという心に気づき、その本性である我がいのちへの感謝という大本の喜びを素直に人に伝えることが大切であると学ばせていただきました。

生誕会にあたり、開祖さまのご因縁をかみしめ、「報恩感謝」と布教伝道に向けての「誓願」を新たにさせていただきたいと思います！

国際伝道部長
齋藤 高市

Living the Lotus では、 皆さんのご意見・ご感想を募集しています。
お問い合わせは、 以下の E メールアドレスにお願い致します。
E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii
2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA
TEL: 1-808-455-3212FAX: 1-808-455-4633
Email: sangha@rkhawaii.org URL: http://www.rkhawaii.org

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center
1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA
TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center
73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA
TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles
2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA
POBox 33636, CA 90033, USA
TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567
Email: rk-la@sbcglobal.net URL: http://www.rkina.org/losangeles.html

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco
1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA
POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA
TEL: 1-650-359-6951 Email: info@rksf.org URL: http://www.rksf.org

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco
Rissho Kosei-kai of Sacramento
Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York
320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA
TEL: 1-212-867-5677 Email: rkny39@gmail.com URL: http://rk-ny.org

Rissho Kosei-kai of Chicago
1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA
TEL: 1-773-842-5654
Email: murakami4838@aol.com URL: http://rkchi.org

Rissho Kosei-kai of Fort Myers
URL: http://www.rkftmyersbuddhism.org

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma
2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA
POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA
TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303
Email: rkokdc@gmail.com URL: http://www.rkok-dharmacenter.org

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver
1255 Galapago St. #809 Denver, CO 80204, USA
TEL: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton
617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA
URL: http://www.rkina-dayton.com

The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)
2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA
TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-269-4567
Email: dharmasa@rksabuddhistcenter.org
URL: http://rksabuddhistcenter.org

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio
(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA
(Mail) POBox 692148, San Antonio, TX 78249, USA
TEL: 1-210-558-4430 FAX: 1-210-696-7745
Email: dharmasanantonio@gmail.com
URL: http://www.rkina.org/sanantonio.html

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center
28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA
TEL: 1-253-945-0024 Email: rkseattlewashington@gmail.com
URL: http://buddhistlearningcenter.org

Rissho Kosei-kai of Vancouver
Please contact RKINA

Risho Kossei-kai do Brasil
Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil
TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377
Email: risho@rkk.org.br URL: http://www.rkk.org.br

Risho Kossei-kai de Mogi das Cruzes
Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP, CEP 08730-000, Brasil

在家佛教韓国立正佼成会
〒 04420 大韓民国 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

在家佛教韓国立正佼成会釜山支部
〒 48460 大韓民国釜山廣域市南區水營路 174, 3F
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

社團法人在家佛教立正佼成會
台湾台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大厦 4 樓
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongjheng District, Taipei City 100, Taiwan
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

台南市在家佛教立正佼成會
台湾台南市崇明 23 街 45 號
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488
Email: koseikaitainan@gmail.com

Rissho Kosei-kai South Asia Division
Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Kathmandu
Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Kolkata
E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North
AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059,
West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center
Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001,
Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center
Please contact Rissho Kosei-kai of Kolkata

Rissho Kosei-kai of Central Delhi
77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,
New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Singapore
Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh
W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,
Phnom Penh, Cambodia

RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia
Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Bangkok
Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei Dhamma Foundation
No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa
Please contact RiKISA

Rissho Kosei-kai Bangladesh
85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
TEL/FAX: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai Mayani
Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Damdama
Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Satbaria
Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Chendhirpuni,
Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai Raozan
Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Laksham
Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Dhaka
408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar
Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Please contact Rissho Kosei-kai Bangladesh
Rissho Kosei-kai Patiya
Rissho Kosei-kai Ramu
Rissho Kosei-kai Aburkhiln

Buddiyskiy khram "Lotos"
4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia
TEL: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai of Hong Kong
Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar
(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoroo-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia
(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Erdenet
Please contact Rissho Kosei-kai International

Rissho Kosei-kai di Roma
Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Please contact Rissho Kosei-kai di Rome
Rissho Kosei-kai of Paris
Rissho Kosei-kai of Venezia

Rissho Kosei-kai of the UK
29 Ashbourne Road, London W5 3ED, UK
TEL: 44-20-8933-3247 Email: info@rkuk.org URL: https://www.rkuk.org
Facebook: https://www.facebook.com/RKUnitedKingdom
Twitter: https://twitter.com/rkuk_official
Instagram: https://www.instagram.com/rkuk_official

Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)
166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: http://www.ibc-rk.org

Published by Rissho Kosei-kai International